

「千と千尋の神隠し」が伝えたかったこと



様々な文献やサイトを読みましたが、やはり古代から私たち庶民は、大和族（天孫族）や出雲族に支配されてきたのだと思います。もしかしたら、はじめ出雲族は土着の縄文時代の蝦夷族たちと仲良く暮らしていたのかもしれませんが。しかし、大和族に支配されて以来、対立しながらも（秦 vs 物部、源 vs 平、最澄 vs 空海、南朝 vs 北朝、徳川 vs 長州、海軍 vs 陸軍...）、常に大和族と共に現代まで私たち庶民を支配してきたと思うのです。

彼ら支配者（天皇家・財閥）のために、私たち庶民は働かされ犠牲となって 1500 年以上も、あるいはもっと昔から辛い生活を強いられてきたように思います。そして近代においては、明治維新でイギリスに支配され、戦争でアメリカにも支配され、一体となって私たち庶民を支配しているようです。それを実際に導き片棒を担いできたのが資本家・政治家・官僚・メディア・宗教団体・医者・反社会的集団達です。共通しているのは庶民よりも抜きん出て所得が高いこと。

アベノミクスにより、企業の法人税が引き下げられ雇用は拡大し景気が良くなっていると伝えられていますが、私たち庶民の生活は厳しさを増しています。驚くことに貧困率は世界第4位。子供は6人に一人が貧困に直面し、父子・母子家庭貧困率は世界一だそうです。富裕層と貧困層の格差は広がる一方です。

私たちは、知らぬ間にたくさんの様々な税金（直接税・間接税）を支払わされています。日本は税金の高い国世界第2位なのです。それなのに福祉も充実していません。税金だけではありません。最低賃金は上がりず非正規雇用が増えた格差社会の中、必死に働いた私たちの大切なお金は、様々なところで国や企業に吸い上げられるしくみができています。

たとえば、国の様々な規制緩和により、世界一農薬（ネオニコチノイド系やラウンドアップ）で汚染された農産物を食べ、世界一食品添加物を食べ、世界一遺伝子組み換えされた食品を食べさせられています。水道水は世界一濃い塩素濃度です。結果、化学物質を大量に摂るようになった日本人は、子供も大人も、心も体も病気になり、多くの人が病院に通い薬を飲まされ続けています。

長寿国になったとはいえ、病気や激増する認知症により、亡くなるまで家族に負担をかける要介護生活は平均10年です。癌（がん）の発症率は二人に一人に激増し、三人に一人が死んでいます。アレルギーは国民の三分の一に激増。子供達は15人に一人が発達障害。鬱（うつ）や統合失調症など精神疾患は15年で200万人から400万人に倍増。国が3万人弱→2万人強に減ってきていると発表している「自殺者数」。実はその自殺認定は遺書があるものだけ。遺書がなければ変死扱いとなり、その変死者は年間15万人。もしかしたら世界一自殺している国が日本らしいのです。すでに若者の自殺率は世界一です。これは、なによりの裏付けでしょう。

規制緩和→農薬会社・食品添加物会社 → 農業・食品加工業 → 汚染食品 → 病人
戦勝国アメリカからの圧力→規制緩和→輸入された汚染食品→病人

私たちが支払う医療費の負担は大きいです。国が負担する医療費といえども私たちの税金です。

国もマスコミも、病気予防は「**化学物質にまみれた食生活から逃れること**」には一切ふれず、せいぜい「欧米化した食生活の改善」と、検査機関へ促す「早期発見・早期治療」のみを薦めます。日本の医療は、日本にとっても米国にとっても、大切な巨大産業となっているので、本当のことは隠されているのでしょう。

検査機関 → 病院 → 製薬会社・ワクチン会社 → 介護施設 → 医療保険会社。

さらに、郵政民営化で外国資本へ利益供与され、米国アフラックのがん保険も一人勝ちしているように、近頃は種子法が廃止されました。日本の主食の「米」すらも、米国のモンサント社が遺伝子組換えの種＋農薬で支配しようとしています。さらに国

は、ライフラインの水道事業の民営化まで推し進めようとしています。どれも国民生活を犠牲に日本の財産を外国に貢ぐ政策に思えます。国民のための政治は全く機能していません。

また、世界中の支配者と結託して「戦争」に国民を誘うプロパガンダ政治が進められています。戦争すれば庶民の血とひきかえに、国内外の軍需産業やゼネコンは、ますます莫大な利益を得られるのです。実はアルカイダや IS はアメリカ（オバマ・ヒラリー）が作り、北朝鮮の金家は戦後残っていた天皇一族で、日本の政治と連携していると言われています。選挙や法案審議の時にタイミング良くミサイルが飛んできて脅威を煽られるのはそのためです。その結果、国会では集団的自衛権や日本版 NSC、特定秘密保護法、武器輸出三原則撤廃、通信傍受法改定が成立され、そしてまもなく共謀罪法案も可決されてしまいそうです。この勢いでは憲法改正も通ってしまうでしょう。格差社会がもっと広がれば、米国のように貧困者は家族を食べさせるために自衛隊に入らざるをえない状況になり、戦争へ送りこまされるかも知れません。すでにインド洋やイラクに派遣された自衛隊員が 56 人も自殺しています。本当は戦死だったのではと疑ってしまいます。

首相は世界中の首脳を伊勢神宮に集めました。明治時代より神社はすべて伊勢神宮の配下となり、国民は神棚のお札まで神宮大麻を半ば強要されてきました。天皇家所有の伊勢神宮には巨額な国民の「お金」と「気」が吸い上げられ利用されているのです。影ではそれに組みした様々な新興宗教団体が力を持つようになりました。近頃は特に芸能人やメディアを広告塔にして巨大な力を持ち始めています。神道やカルト教が先の大戦で国民を先導し、どれだけ多くの人を戦争に向かわせて死なせたか。（戦死者 230 万人、市民犠牲 80 万人）全ての宗教は大切な支配洗脳ツールです。由々しき事態がまた迫っているように感じます。

終戦時のアメリカ大統領トルーマンの衝撃的な言葉を見つけました。

「猿（日本人）を『空虚の自由』という名の檻で、我々が飼うのだ。方法は、彼らに多少の贅沢さと便利さを与えるだけで良い。そして、スポーツ、スクリーン、セックス（3S）を解放させる。これで、真実から目を背けさせることができる。猿は、我々の家畜だからだ。我々の財産である家畜の肉体は長寿にさせなければならない。（化学物質などで）病気にさせて、しかも生かし続けるのだ。これにより我々は収益を得続けるだろう。これは、勝戦国の権限でもある。」

アメリカが終戦以降に日本の支配者たちを使って日本に根付かせた「家畜化政策」（愚民化政策・弱体化政策）です。私たちはすでに自分で考えることを忘れさせられた家畜なのです。

さて、1 万年以上も平和が続いた縄文時代。人は神（自然）と一体となって平和に暮らしていたといえます。私は、ある程度ストイックに生きていたのだらうと漠然と

考えていました。

しかし、どこかで読んだ古代の歴史本に、侵略してきた支配者たちは「庶民から、神と一体となって幸せに暮らす術を取り上げて支配するようになった」と書かれてありました。その術とは、私たちを中央（善・中道）ではなく「極（悪）」で生きさせること。極で生きさせれば、本当の善神と一体となれず、幸せに生きる特別な加護は得られなくなってしまうのだそうです。そのために支配者は、貨幣や競争社会そして似非神を聖地に作り「欲得」の極の世界で庶民を生きるように仕向けたのです。その極の世界では善神の加護は得られないので、使うなら悪神に頼り、悪の加護を得て、悪（欲得）のために使う魔法しかありません。それが宗教や呪術だったのです。

よく分かりませんが、地元で 3.11 を経験して、支え合う気持ちを心の底から持って行動した時、偶然とは思えない良い出来事が度々起こって驚いたことがあります。そして、その到底自分の力ではない「大きな力」を感じ、感謝の念が自ずと沸きました。神と一体となり加護を得ながら幸せに生きる魔法とは、そのようなことを意味するのではないのでしょうか。似非神を自分の欲得のためだけに必死で拝むことではないと思うのです。

私が感謝し導きを願う本当の善神は、太陽と大地の神、そして社殿や神棚を介してではなく、直接自分の魂につながる自分の神です。悪い神と支配一族につながる神棚はだいたい前に燃やしましたがバチは当たりませんでした。

いろんな解釈があるジブリのアニメ映画『千と千尋の神隠し』。舞台となる油屋こそが、欲得の「極」の世界です。そこで支配者ユバーバは、贅沢な暮らしをし、悪魔の魔法を使います。人間がその世界のものを食べると家畜の豚になってしまいます。ユバーバの下で働く者たちも金に惑わされ、金欲しさに行動します。すべてがとは言いませんが、大袈裟ではなく、まさに現代の私たちの世界のようなようです。配役や設定を私たちの世界になぞらえてみました。

〔配役・設定〕

ユバーバ（湯婆婆）

1%支配者。黒魔術を使う極の魔法使い。

大和（天孫）族。鳥系。ふくろうはフリーメイソンの象徴。

→伊勢神宮 < 神道 + 似非宗教 < 天皇家一族 < 米国・英国支配者

油屋

支配されている日本。支配されている世界。

ワンワールド（連邦世界政府）世界家畜化政策。

油屋で働く使用人

政治家・官僚・マスコミ・医者・電力会社…。
支配者の言うことを聞いて働いていれば豚にならずに済む。
高所得な生活と引き換えに支配者の犬となる。

釜爺

土蜘蛛族。出雲族に優しい蝦夷族の一つ。（縄文時代の日本土着の一族）
古代、大和族に出雲族とともに負けて支配され使われてきた。

油屋の客神

伊勢神宮配下の全国津々浦々の神社の神々。国民のお金吸い上げシステム。

豚（お父さん・お母さん）

家畜化政策の汚染食（餌）で丸々と太って病持ちの私たち日本庶民。
薬や医療でお金を吸い上げられている。偽物の幸せを与えられて真実に気づかない。

夜店の食べ物

家畜化政策で使われるおいしくて病気になる餌

〔日本の支配者が国民に与える餌〕

- ・ネオニコチノイドやグリホサート農薬まみれの農作物。
- ・遺伝子組換え大豆やコーンで育った牛、豚、鶏の肉、牛乳、卵。
- ・食品添加物入り加工食品。
- ・遺伝子組換え加工食品。
- ・塩素水道水。
- ・サラダ油。マーガリン。白い砂糖、塩、米、汚染小麦粉…

〔米国支配者が日本人に与える餌〕

- ・遺伝子組換えの農薬育ち、殺虫剤をかけて輸出される農作物（小麦、大豆、コーン…）。
- ・抗生剤とホルモン剤を打たれ、遺伝子組み換え作物で育った牛肉。

夜店に「め」の看板やちょうちん

フリーメイソンの象徴「プロビデンスの目」。

カオナシ

私たち人間の心の奥に棲む抑えきれない悪魔（欲望）の象徴。

ゼニーバ

白魔術使い。極ではなく中央にいる善神信仰の魔法使い。

誰も支配しないので一人で暮らしている。スローで環境にいい暮らし。
ユバーバとゼニーバは陰陽。善と悪。創造と破壊。

電車

中道行き（電車に書いてある）

掟（おきて）

支配者により洗脳されているこの世で生きるために最も大切なこと。
自分の目を見て、耳で聞いて、自分で気づき、未来を決めること。
自分を思い出すこと。支配されないこと。だまされないこと。
自分の魂に正直・素直に生きること。
掟を守らないといつまでも豚のまま。いずれ命もとられる。

ハク

呪術（黒魔術）により自分を忘れさせられている。
大和族の右腕となって働かされている出雲族の男神（饒速日命・クナト神）。
女神（瀬織津姫・千尋）と夫婦神だったが引き離されていた。
千尋と出会ってニギハヤミコハクヌシであることに気づいた。
竜族。白竜。ニギハヤヒノミコト。本当は太陽神では。

千尋

呪術（黒魔術）により自分を忘れさせられていた出雲族の女神。
（瀬織津姫・弁財天・如意輪観音…竜神とともに祀られている）。竜族。大地神。
古代、男神（饒速日命・ハク）と夫婦神だったが引き離されてしまっていた。
千尋も強力な善の魔法（白魔術）を使える。
→ハクのために形代（人形）を踏みつけて封印を解きゼニーバを驚かせた。
千と千尋の神隠し＝千は神の称号。瀬織津姫と千尋の神隠し。
そして千尋はあなた。

千尋は、元気のなくなったカオナシを連れて、極の油屋から「中道行き」の電車に乗り、沼の底駅のゼニーバのところへ行きます。乗客はほとんどいなくなり沼の底に着きます。きっと極と極の真ん中の「中道（中庸・中央）」にとっても近いのが沼の底。ゼニーバのスローな生活は、質素だけれど人にも環境にもやさしくほっとします。そしてそこでは、きっと真の善を望む者だけが得られる加護があり、ゼニーバはユバーバに負けない、特別で強力な本当の神様（善）の魔法を使えるのです。

この極限まで極まってしまった時代に、「千と千尋の神隠し」は、私たちが自分で考え生きることを忘れて、支配者の作った『空虚の自由』という名の檻の中で、支配

者の家畜となってしまったことに気づかせるため、瀬織津姫や饒速日命そして中道の
大いなる善神は隠されていることを、思い出させるために、作られたアニメだったの
ではないかと思います。

もしかしたら油屋（この世）は、「掟」のとおり、私たちが自分の目を見て、自分の
耳で聞いて、気づき、判断し、自分を信じ、自分の魂で生きるために、真の善神がし
くんだ「この世の学習機関」なのかもしれません。千尋は私でありあなたです。

ポスターの千尋が私たちをじっと睨んで言っています。

「あなたは豚のままでいいの？」と。



2017 年 春分の日